

技術的対話による一般競争入札（総合評価落札方式）の対話プロセスの公表

調達方法	技術的対話による一般競争入札（総合評価落札方式）
調達件名	有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム（EDINET）の次期システムの構築業務
落札事業者	株式会社シーイーシー
調達部局等	金融庁企画市場局企業開示課
入札公告日	令和2年4月20日
入札説明会開催日	令和2年5月15日、5月20日、5月27日
技術提案書提出期限	令和2年6月9日
審査期間	令和2年6月10日～9月2日
技術的対話期間	令和2年7月1日～7月15日
仕様書確定版提示日	令和2年8月7日
最終技術提案書提出期限	令和2年8月21日
開札日	令和2年9月4日
契約日	令和2年9月11日

《審査・開札結果》

形式的審査の結果	提案事業者数 5社（合格3社、不合格2社）
最終審査結果	最終提案事業者数 2社（辞退1社）
開札結果	応札事業者数 2社 開札結果 株式会社シーイーシー 総合点 1,196.985点 A社 総合点 920.491点

《株式会社シーイーシーとの技術的対話の過程》

技術的対話の時期・回数	令和2年7月1日～7月15日までに3回実施
技術提案書への改善要望等	① システム稼働後の改修対応における保守性も考慮して開発ツールを再検討するよう要望 ② 高負荷・高アクセス時でもクラウドの機能が想定を超えてスケールアウトしないシステム構成とするよう改善を要望 ③ 障害発生時や高負荷・高アクセス時でも業務継続や安定稼働が確保できるシステム構成とするよう改善を要望 ④ EDINETへ提出されるXBRLデータに対して行われるバリデーションの実現方式が複数考えられるが、バリデーシ

	<p>ョンに係る構築コスト及び構築後の利用コストなどを比較した再検討を要望</p>
<p>事業者からの改善可否等</p>	<p>①について、複数の開発ツールを比較・検討し、保守性の高い開発ツールを提案</p> <p>②について、高負荷・高アクセス時に、必要に応じアクセス量の制限を行うシステム構成を提案</p> <p>③について、高負荷・高アクセス時でも提出業務の継続を確保するための対策、及びある機能のソフトウェア障害が他の機能の障害に極力繋がらないシステム構成を提案</p> <p>④について、複数の製品を比較・検討し、構築・利用コストを圧縮できる製品の利用を提案</p>
<p>CIO 補佐官からの助言等</p>	<p>クラウドの特性を活かした、災害発生時でも短時間で復旧が可能となるようなシステム構成について助言</p>
<p>事業者から自発的な改善</p>	<p>着実なデータ移行を行うため、旧システムから新システムへのデータ移行のための開発と新システム構築作業を連携させる方式を提案</p>